

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	文書理解Ⅱ (CR)		(TCH101)
講義名（コード）	TCH_文書理解Ⅱ_E		(TCH101E)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	塩見 知恵子	時間数	30
成績評価教員	塩見 知恵子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	1年後の就職活動に備えて、SPI(非言語・言語)で高得点を取ること、履歴書の書き方等就職活動全般の準備をする。言語・非言語問題で60%以上の正答率、履歴書/志望動機を自分で書ける。
全体の内容と概要	SPIの言語、非言語、履歴書/志望動機の書き方、作文試験対策を行う。
授業時間外の学修	業界・企業研究をする。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	人口密度の推論ができる 二語関係の問題に対応できる	非言語：⑪推論 4 言語：①二語関係
2	組み合わせを理解する 熟語の問題に対応できる	非言語：⑫組み合わせ 言語：②熟語
3	確率を理解できる 語の用法について理解できる	非言語：⑬確率 言語：③語の用法
4	物の流れと比率を理解できる 長文読解の力を伸ばす	非言語：⑭物の流れと比率 言語：④長文読解 例題
5	条件と領域を理解できる 長文読解の力を伸ばす	非言語：⑮条件と領域 言語：④長文読解 練習問題 1
6	グラフの領域を理解できる 長文読解の力を伸ばす	非言語：⑯グラフの領域 言語：④長文読解 練習問題 2
7	長文の読み取りが素早くできる	非言語：⑰長文の読み取り 言語：④長文読解 練習問題 3
8	資料の読み取りが素早くできる 文の並び替えを理解できる	非言語：⑱資料の読み取り 言語：⑤文の並び替え 例題
9	割合について理解できる 文章構成を理解できる	非言語：⑲割合 言語：⑤文の並び替え 練習問題 1
10	論理的に文章構成を理解できる	非言語： 復習問題 言語：⑤文の並び替え 練習問題 2
11	SPIの復習	期末試験対策（非言語・言語分野）
12	SPIの復習	期末試験対策（非言語・言語分野）
13	SPIの復習	期末試験対策（非言語・言語分野）
14	期末試験	期末試験
15	期末試験解説	期末試験解説、一年の振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『SPI基礎からはじめる問題集』
参考文献・資料等	
備考	